



「172のころ」

卒園式の練習をしていたある日。

言葉や歌などがなかなか揃わず、どうしたらいいかな～と考えていた。「もっとゆっくりいう！」など様々な意見が出ていた中、Kくんが「手をつなぎたい！」と言ってくれた。すると「それいいね！」と何人もの子どもたちが手をつなぎはじめた。そして、「♪てをつなごう～ てをつなごう～♪ち～か～ら～が わいてくるよ やさしいきもちになるよ」と、発表会で歌った”てをつなごう”を自然と歌い始めた。「ちからがわいてきた！」と、とてもうれしそうな表情を見せる子どもたち。日々の経験が今につながり、友だちと笑い合うその姿が、とても頼もしく輝いていた。

いよいよ明日は卒園式。子どもたちと一緒に笑い、保護者の方と成長をよろこびあった日々は、私にとって本当にかげがえのない時間でした。小学校という新しい世界へ飛び立つ子どもたちの姿は本当に頼もしく、誇らしいです。迷ったとき、不安なときは武雄こども園で過ごした日々を思い出し、そっと安心した気持ちになってくれるといいなと思います。ここで一緒に過ごした友だち、先生たちはずっとみんなの味方です。ずっと応援しています。



219粒の種  vol. 「心の宝石」



③ 笑っ=泣い=り、けんか=たり 夢中=に遊んで=り... 毎日のその一つ一つに、みんなの心の宝石が、少しずつ、少しずつ磨かれて、光輝きはじめました。

④ これからもっともっと光輝いていく心の宝石。言葉がとどく必要はないよ。あなただけの色と形がいい。大切に大切に磨き上げていってほしいね。

② 「やってみよう！」「だってどうしたら？」「いいね！」が合言葉になり、お互いの良さを言忍めて「協力し合うことが」本当に得意な年長さんでは！
〇〇ん 絵をかいてくれる？ わらた!! じいあ 毎日はあかせて!

今年もまた、35名の年長さんが「武雄こども園」を巣立ちます。みんな、みんなの大切な大切なさくら組みさん。ここで愛された言の葉が春を守ってくださるように。卒園 おめでとう!! いってらっしゃい!!

園玄関のミモザが満開になりました。毎年この時期になると、山吹色の花をつけるミモザ。花言葉は「友情」です。「園で出会ったお友だちとはずっと一緒だよ。だから安心して行ってらっしゃい。」と、園を巣立つさくら組さんにささやいているようにも見えます。振り返れば、本当にあつと言う間の園生活。静かな寝息をたててお昼寝をしていた、あのコト。夢中になって遊んだ、あの玩具。お友だちと一緒に笑い合っ給食を食べていた、あの机。さっきまで泣いていたのに急に笑い始める、くるくると変わる、あの表情。そして、お迎えに来たお家の方を見つけたときの、あの笑顔。

ずっと一緒にはいられないからこそ、園でお預かりする間の全ての瞬間を大切に。そして僅かでも、子どもたちの生きる力になりますように。私たちはそんな想いを胸に日々を重ねてきました。

さくら組の皆さん、ご卒園おめでとうございます。皆さんの背中には、「優しさと夢中」の力を携えた、大きな翼が見えます。そしてさくら組の保護者の皆様、皆様は6年間、来る日も来る日もお子様にとっての水となり、太陽となり、そうして揺るぎない根とられました。場所が変わっても、周りの人が変わっても、もう、大丈夫です。周りとは比べず、そのままの姿で十分です。これからはお子様に向けていた眼差しを、お子様と同じ未来の方向に向け、ふっと肩の力を抜いて、立派に育てられたお子様に、時々頼りながら、任せながら、一緒に歩まれることを願います。私たちは皆様を、唯一無二の存在、The Oneとして、自信を持って送り出させていただきます。

在園児の保護者の皆様、1年間園の教育・保育へのご理解とご協力を頂き、ありがとうございました。皆様の温かな想いが武雄こども園に溢れ、子どもたちを優しく包んで下さったことを心より感謝いたします。

